



IIDA MUNICIPAL HOSPITAL NEWS

飯田市立病院

News

NO. 86  
2022. Summer



2p ICUリニューアル

3p MRIの更新・エコー室リニューアル

4p 5p ねっとわーく

三浦医院

飯田市立千代診療所

言語聴覚士の日

6p がん相談支援センターからのお知らせ

7p 話題の広場 看護の日

職場紹介 介護老人保健施設ゆうゆう3階

8p レントゲン博士の独り言

新任医師の紹介

患者さんの声

## ひまわり畑(平谷村)

### 飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

### 飯田市立病院 基本方針

- ①私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- ②私たちは、患者さん中心の医療を実践します
- ③私たちは、地域の保健、医療、介護、福祉機関と密接に連携します
- ④私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上とともに、職員が誇りややりがいの持てる職場をつくります
- ⑤私たちは、公立病院として、よりよい医療を提供し続けるために、健全な経営に努めます

### 飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意 をもって医療を実践します

# ICU リニューアル

この度、ICUは改修工事を行い、設備・内装を一新しました。

照明や空調が最新機種に更新、床と壁紙の張り替えを行ったほか、感染対策として布カーテンを撤去し、拭き掃除が可能なパーテーションを設置しました。

また、医療機器やケア用品の配置や、作業動線の見直しを行い、緊急時に迅速な治療が行え、より安全に安楽な、集中治療室に相応しい治療環境となりました。

ICU (Intensive Care Unit) は集中治療室として全診療科に対応しており、大きな手術をされた方や、急に具合が悪くなり集中治療を必要とする患者さんが入室されます。

病床数4床、2対1の看護体制で、24時間集中的な治療とケアをさせていただきます。

特に、当院は飯伊地域で唯一、心臓血管外科の周手術期を担っており、術後ICUにおいて厳密な術後管理をいたします。

医師・看護師をはじめ、薬剤師、リハビリスタッフなど、多くの職種が専門的な視点で関わり連携することで、患者さんの回復過程を支援させていただきます。

人工呼吸器、補助循環装置など、多くの医療機器があり特殊な環境で緊張感をお持ちになられるかもしれませんが、笑顔と気配りを忘れず、不安をお持ちの患者さんに少しでも安心していただけるよう心がけています。

リニューアルされた環境に感謝し、スタッフ一同、気持ちを新たに患者さんの早期回復を目指し、ケアに取り組んで参ります。



器材室 多くの医療物品を装備しています



日当直室 迅速な治療対応が行えるよう常に医師が待機しています

# MRI 更新



当院で長年使用してきました GE 社製の MRI が、4月11日より Siemens 社製の MRI に更新されました。静磁場の強度は1.5Tと変わりませんが、最新技術を搭載した装置となっています。

最大の特徴として、深層学習 (Deep Learning) と呼ばれる AI 技術を活用し

た画像再構成が可能となり、従来と比較して短時間で高精細な画像を提供することが可能となり、開口部は直径70cmと以前の MRI より10cm広くなり圧迫感が解消された構造となっています。

また、装置の更新と同時に前室の改築工事も行いました。更衣室を4室ご用意させていただき、内部には鍵付きの貴重品ロッカーを完備し、万が一、検査中に気分が悪くなった場合は、一時的に休憩ができる個室も完備いたしました。

今後、8月に MRI がもう1台稼働します。こちらは静磁場強度が3Tと今まで使用していた装置より静磁場が強いのでさらに高精細な画像を提供できるようになります。

# エコー室 リニューアル



5月30日より、MRI 更新工事に伴い、腹部エコー室が57番から55番へ移動し、リニューアルしました。

リニューアルした腹部エコー室は、木目調の床紙や木のテーブルを採用し、暖かさを感じていただけるような仕様となっています。

また、これまで4部屋で行っていた腹部エコーですが、1部屋増設し、5部屋に変更しました。1部屋増室したことで、検査の待ち時間の短縮、検査予約期間の短縮につながると考えております。

今後も、患者さんが安全安心に検査を受けていただけますよう、スタッフ一同、邁進して参ります。





### 三浦医院

**診療科目** 内科・小児科

**院長** 三浦 宜久

**所在地** 〒395-1101 長野県下伊那郡喬木村849-10

**電話番号** 0265-33-2030

**駐車場** あり



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休	休
14:00~18:00	○	○	○	休	○	※	休	休

※土曜日のみ13:30~15:00

### 【医院紹介】

昭和60年に喬木村に内科、小児科を開業し37年になりました。現在6名の看護師と3名の事務員で診療しております。

開業した当時は7,600人ほどの人口があった喬木村ですが現在6,200人ほどに減少してしまい高齢化が進んでいます。その分在宅医療、緩和ケア、看取り診療も多くなり複数の医療機関、訪問看護ステーションと連携を取り24時間体制で、診療を行っています。また2021年4月より新型コロナ協力医とし発熱外来、検査、診療を行うようになりました。年々、検診、園医、学校医、老人ホーム、グループホーム、障害施設の嘱託医が多くなり、忙しくなりましたが、当院のスタッフが大変頑張ってくれており、本当に感謝しています。今後も、かかりつけ医として患者さんに寄り添った優しい医療をスタッフと共に心がけ、日々の診療に取り組んでいきたいと思ひます。最後に飯田

下伊那の病院の先生方には、紹介患者さんに対して、いつも素早い対応に感謝しております。これからも大変ご迷惑をおかけしますが宜しくお願いいたします。



三浦院長(前列中央)とスタッフの皆様

## 言語聴覚士をご存じですか？

当院ではリハビリテーション科に7名の言語聴覚士が在籍しています。

言語聴覚士は、言語聴覚障害（脳卒中後のコミュニケーションや発達上のことばの障害など）や摂食・嚥下（飲み込み）に障害のある方々に評価・指導・訓練などの専門的サービスを提供し、障害の軽減を図るとともに、より質の高い社会生活の実現に向け支援していく職種です。

また、当院では、お子さんの言葉の発達への支援もしています。

## 登録医とは…

共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

# 飯田市立千代診療所

- 診療科目** 内科・外科・小児科一般、脳神経外科、腫瘍内科
- 診療所長** 山中 龍也
- 所在地** 〒399-2222 飯田市千代932-5
- 電話番号** 0265-59-2014(FAX同)
- 往診** 可
- 駐車場** あり

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	休	○	○	○	○	※	休	休
13:00~17:00	○	○	休	○	○	休	休	休

※土曜午前は第1、3週のみ診察日



## 地域の方々の疾病の予防と健康維持・増進にお役に立てれば幸いです

本診療所は昭和26年(1951年)に開設された千代村直営診療所が前身です。昭和43年(1968年)に飯田市立の診療所として再発足し、平成3年(1991年)に現在の建物が新築移転されております。昭和39年(1964年)以降は堀田一男先生、伊藤龍雄先生、伊藤朝樹先生、高松病院の医師、唐澤弘文先生らが診療にあたられ、千代・千栄地区だけでなく、上久堅・龍江・泰阜地区等の地域住民の方々の健康を支えてきました。昨年12月末からの休診期間の後、本年5月31日から診療再開しております。

現在スタッフは医師、看護師の2名です。看護師西尾みき子さんは千代地区在住です。この春まで飯田市立病院に長年にわたり勤務されたベテランで、患者さんに優しくとても信頼されています。

私(山中)は飯田市出身で、新潟大学卒業後、同大学の医局関連病院・大学病院勤務等を経て、京都府立医科大学で研究・教育・診療に従事し、令和2年3月(2020年)に定年退官しました。故郷の医療に少しでも貢献できればという思いもあり、こちらに着任させていただきました。脳神経外科、がん薬物療法などの専門医ですが、まずは診療科目を限定せず、患者さんの訴えをお聞きし、適宜、専門医に紹介させていただく地域連携を基本とし、地域の方々の生活習慣病をはじめとする疾病の予防と健康の維持・増進にも力を入れてまいります。微力ではありますが、少しでもお力になれば幸いです。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

和2年3月(2020年)に定年退官しました。故郷の医療に少しでも貢献できればという思いもあり、こちらに着任させていただきました。脳神経外科、がん薬物療法などの専門医ですが、まずは診療科目を限定せず、患者さんの訴えをお聞きし、適宜、専門医に紹介させていただく地域連携を基本とし、地域の方々の生活習慣病をはじめとする疾病の予防と健康の維持・増進にも力を入れてまいります。微力ではありますが、少しでもお力になれば幸いです。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



山中診療所長(右)とスタッフ様

話す事も食べることも日常当たり前のように行なっていて、それが上手いかなくなることは想像しにくいですが、とてもつらいものです。少しでも楽になるように、一緒に練習したり、工夫を提案させていただきますので、お困りの方はご相談ください。

また、言語聴覚士を目指されている方もお気軽にご相談ください。

リハビリテーション科 担当：清水 まで

毎年 9月1日 は

## 言語聴覚の日

言語聴覚士は  
話す 聞く 食べる  
の  
専門家です!

言葉によるコミュニケーションや飲み込みに問題がある方々の日常をお手伝いし、よりよい生活を送ることができるよう全力でサポートする仕事です!



コミュニケーションや食べることでお困りの方は言語聴覚士までご相談ください!

# がん相談支援センター からの お知らせ

## このような不安、心配、悩みなどはありませんか？

- がんの疑いがあると言われた
- 治療が始まるけれど、仕事は休んだほうがいい？
- 家族ががんと診断された。どう関わったらいいのかわからない
- 体がだるくて動けない。生活に支障がでてきたけれど、なにかサポートしてもらえることはある？

がん専門相談員の認定看護師や医療ソーシャルワーカーがお話を伺い、一緒に考えさせていただきます。

### ◇以下のような場合でもご相談いただけます◇

匿名で相談したい／出向けないので電話で話したい／患者本人や家族ではないけど相談したい／他院にかかっている 等

### 《令和3年度の相談状況》

令和3年度	面談	電話	合計
相談件数	873	451	1,324



ここ数年、新型コロナの影響で、お電話によるご相談件数が増加しています。

### 《相談内容別件数》

不安・精神的苦痛	999
症状・副作用・後遺症	908
がんの治療	708
食事・服薬・入浴・運動・外出など	359
医療費・生活費・社会保障制度	321
社会生活(就労・仕事・就学・学業)	308
介護・看護・養育	265
生きがい・価値観	178
受診方法・入院	143
在宅医療	95
その他	89



【不安・精神的苦痛】がもっとも件数多く、【症状・副作用・後遺症】、【がんの治療】と続いています。告知や治療の開始時の大きな不安、副作用のつらさ、今までと生活が変わることでのストレス、治療でかかるお金の心配など、ご相談の内容は様々です。

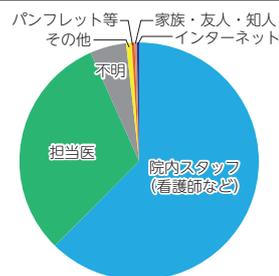
### 《がん部位別件数》

乳房	316
大腸	214
血液がん・リンパ	183
肝・胆	89
卵巣	87
胃	86
腎	47

### 《相談者年齢別件数》

年齢	0	0	15	22	158	266	308	369	179	6
	0~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~99

### 《がん相談支援センターを知ったきっかけ》



受診された時に、担当医や外来看護師からがん相談支援センターについてのカードを渡されたり案内を受けて、相談にお越しいただく方が多いです。院内でのポスター掲示や病院ホームページへの掲載もしており、さらに広く知っていただけるよう努めているところです。

## 相談無料・秘密厳守



「話を聞いてもらいたい」「こんなこと訊いてもいいのかな」と思われることでも、ぜひお気軽にご相談ください。ご相談は無料、秘密は守ります。

### 《がん相談支援センター 相談対応時間》

平日 8:30~17:15

直通電話 0265-21-2010

場所 130 がん診療・緩和ケアセンター 内

# 話題の 広場

## 2022年 看護の日

5月12日は看護の日でした。

今年のメインテーマは「いのち、暮らしを、守る」とし、5月8日～5月14日の看護週間に、感染拡大状況を考慮しながら4つの企画を実施し、看護の心をお伝えさせていただきました。

「看護の日」の紹介及び「健康維持増進・感染防止のための過ごし方」を1階ロビーにポスター掲示し、外来待合にあるディスプレイに掲示したポスターを放映しました。

看護の日の献立として「野菜の入った豆乳スープ」を、“ナイチンゲールとスープ”のエピソードのメッセージカードを添え提供したところ、患者さんからとても美味しいと好評をいただきました。

また、各部署で入院患者さんへ保湿ポケットティッシュに、担当看護師が書いたメッセージカードを添えて送りました。

患者さんからは「うれしい、大切にする」というお言葉を頂戴しました。

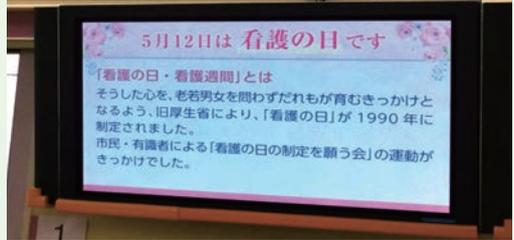
私たち看護師は、「看護の日」に療養中の患者さんへメッセージを送ることで、改めて自分自身の看護を振り返ることができました。

看護の日

ポスター掲示



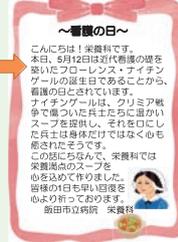
外来待合ディスプレイ



看護の日献立

メッセージカード

看護の日献立：豆乳スープ



患者様ひとりひとりに  
心を込めてメッセージを  
書きました

### シリーズ ● 職場紹介 ● その73

#### 【介護老人保健施設ゆうゆう3階の紹介】

3階Bチームは、「さくら」「すみれ」の2ユニットで、24名の利用者様に、看護師・OT・介護員の14名で生活サポートをさせていただいております。

生活サポート以外にも、利用者様は施設内でお過ごしいただくことが多いため、施設内に居ても季節を感じていただけるよう、利用者様と共に壁画を作成しています。

今月は、七夕ということもあり、利用者様と一緒に短冊に願い事を書きました。

「家族が健康に」「早く家に帰れますように」「世界が平和になりますように」と、健康や平和を祈る願いの他にも、「アイスクリームが食べたい」と可愛らしい願い事もありました。

利用者様の心も体も健康に、より家庭的な雰囲気の中でゆとりある生活をしてお送りいただけるよう、スタッフは「人間杖」となり、利用者様の思いに寄り添い援助させていただきます。



季節の壁画





## 血管造影検査

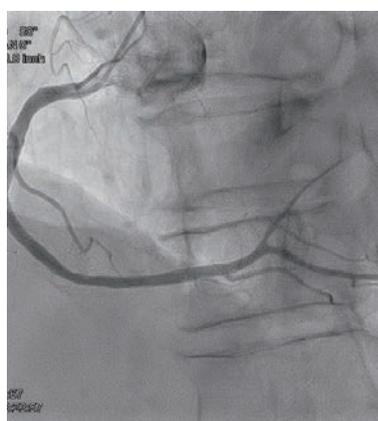


血管造影検査とは？と思う方もいらっしゃると思います。簡単に申し上げますと、血管の中にカテーテル（チューブ状の物体）を通していき、観察したい部分の血管に造影剤という薬剤を直接流し、血管の走行や流れを視覚的に観察する検査です。別名では、「血管撮影」「カテーテル検査」「アンギオ」とも呼びます。

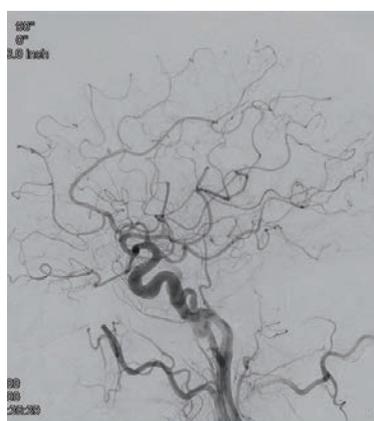
当院の血管造影で件数の多い部位としては、心臓・大動脈・脳血管・四肢の血管・内臓の血管等が挙げられますが、血管をリアルタイムに観察することにより、血管の狭窄や閉塞、逆に拡張（動脈瘤）や動脈壁の破綻等の診断、又悪性腫瘍に対する栄養血管の特定がされ、その状況に合わせた治療を開始することができます。

また、緊急性の高い症例は即時に治療開始され、救命にも貢献しています。

血管造影検査は、身体への負担が検査の中でも高い分類に入るので、健康診断や気軽に日帰りで検査する訳にはいきませんが、血管の状況を確認するには非常に有効な検査になります。



心臓（冠動脈）



頭部（総頸動脈）



腹部（腹腔動脈）

当院のご意見箱に頂戴した内容をご紹介します

## 患者さんの声



## 新任医師の紹介

(令和4年4月2日～7月)



整形外科

内田 美緒

(うちだ みお)

平成31年卒業

令和4年7月1日着任

前勤務病院

信州大学医学部附属病院

**Q** Wi-Fi がなかなかつながらず職員の方は不便をしているのではないですか。

**A** 当院のwifiは専用の機器を用いて無線親機の電波出力やチャンネル設定をフロアごとに管理しており、最適な出力となるよう自動調整しています。また、無線電波調査等で外来波の削減、調整等を行い、よりよい電波環境を整えるための対応をとっています。

～皆様からのご意見を真摯に受け止め改善に努めます～

**あ と が き** 夏が来ると思い出す…。辛い練習に耐え、たった一つの目標に向かって仲間と共に汗を流した充実した高校野球生活を。今年はこの高校が甲子園への切符を勝ち取るのでしょうか？高校球児の皆さんには今しかないこの大会を悔いなく終えてしてほしいと、あれから25年経った今、心から願っています。  
(編集委員 岩下和広)